天地

ネットワークテーブル　530号

天地シニアネットワーク　2022. 4. 20

ＴＥＮＴＩ　ＴＯＤＡＹ　「ウクライナ戦争」の懸念、「日本」への微かな期待「ロッテ佐々木投手の快挙」「指導者の交代」			1
新聞で報じられた記事のナナメ読み 「円相場」の先行き 「SMBC日興証券の株価操作」 ネット・ニュースから　「前京大総長が語る」			2
会員の広場			7
旅　行	２年ぶりに「そうだ京都に行こう」を実行（７） 京都の魅力は水が決め手	池端千一郎	7
歴史考察	台湾の歴史を学ぶ（１）	田口　秀美	8
回　顧	国立慕情（12）「武蔵野グリーンパーク野球場」	津田　孚人	１１
事　務　局			１３

****

ＴＥＮＴＩ　ＴＯＤＡＹ

****

「ウクライナ戦争」の懸念

　戦争が長引き、本格的な衝突が始まろうとしています。第三次世界大戦への道・・・というのもまったく非現実的と言えなくなりそうな気配。報道にあるようなプーチン大統領の独断、欧米とロシアの対立、と単純に割り切れない。ロシア、ウクライナ、ベラルーシの3国は、歴史的つながりがあり、欧米を含めて皆、キリスト教国、歴史的な確執も考えられる。4 月 17 日は、イースター・復活日でしたが、イースター休戦など話題にもならなかったのが残念です。

****

「日本」への微かな期待

経済大国日本も下り坂にありますが、民間には、未だ世界に通用する、人、財、技術、が残っています。民族的、宗教的しがらみの少ない日本、危機下にある世界の中で果たすべき役割は多々あるはずです。日本の指導層には、柔軟な考えの人があまり見当たりません。日本の活力をフルに生かせるような新人類の登場を期待。

****

「ロッテ・佐々木投手の快挙」

暗いニュースが続く中で、非常に明るいニュース。大リーグの大谷選手につづいて、けた外れの選手、高卒3年目、楽しみな選手です。ついでにもう一つ、佐々木投手をリードした捕手の松川選手。市和歌山高出身で、高卒1年目、二人とも甲子園で活躍

しましたが、ともに公立校出身なのに注目。甲子園では、県外からの選手を大量にスカウトして集めた私立校が多く、上位になりがちですが、卒業後伸び悩む選手が多い。勝利至上主義、私立高指導者の指導方法に問題があるのでは･･･。

****

指導者の交代

先日、全国小学生相撲大会が中止となり、今後も開催しないとの報道があり、話題となりました。優勝のために小学生を20キロも減量させたチームがあったとのこと。指導者の行き過ぎが目に余り、大会を廃止したようで、賢明な判断。日本社会、多くのところで指導者の問題が提起されている。過去の経験を押し付け、時代の変化を受けいれない、自己中心の指導者は、好まれない。プロ野球、日ハムの新庄監督のような、新タイプの指導者、新しい挑戦に、期待がわきます。

****

新聞で報じられたニュースのナナメ読み

****

「円相場」の先行き

大方の予想通り「円安」の勢いが止まりません。一般的には、コロナ禍、ウクライナ戦争という突発的な一時的要因で引き起こされた、エネルギー不足、物不足、物価高にたいして、金融引き締め＝金利高で対応するはずですが、政策当局は、現在の超低金利政策を変更する考えは一向にないようです。今年、黒田日銀総裁が任期で退任しますので、そのときに、金利政策が変わると予想する向きも多いようです。それまで我慢ということになりますが、すでに「円安」の悪影響がでています。金利を上げ、即円安を止めるタイミングに、踏み切らない政府、日銀、ここまでくると何か隠された不都合があるのではないかと疑いたくなります。テレビ、新聞でしかニュースを知ることが無くなりました。そのような中で、前々から、本件に関して少し気になることがありました。以下、勝手な推論です。

日本の債券市場、以前は、国債のほか、地方公共団体が発行する地方債、興長銀が発行する金融債、一般企業の発行する社債と、多彩で、金融情勢にあわせて条件が決まり、発行されていました。購入する側は、銀行や機関投資家が中心でしたが、個人も退職金で、安定した電力債を買うというのが一般的で、また途中で売却できる金融債も人気がありましたので債券保有者は多くいました。

　その後、民間の長期資金需要が減って興長銀が役目を終えて退場、金融債が無くなり、社債の発行も減り、発行市場も売買市場も縮小しましたが、一方で財政の拡大を続ける国が、国債の発行を大量に増やしていきました。

銀行の定期預金は、途中解約するのが難しい、一方で債券は、途中売却できるという利点で国債も人気がありましたが、超低金利時代を迎えて、利回りが大きく下がって銀行の定期預金と変わらなくなると一気に人気が下がりました。その結果、大量に発行される国債は、日銀が一手に引き受けることになりました。

超低金利政策を続ける安倍政権のもとでは、日銀は保有している国債を売ることは、ほとんどなく、保有量は大きく膨らみ、国債の大半が日銀にあるという状態になりました。普通であれば金利が意図的に低く抑えられているのが分かれば、機を見るに敏な投資家は、空売りを仕掛けてきます。利回りが低いというのは、単価が高いこと、利回りが高いというのは、単価が低いことです。したがって高いところで売って、安いところで買い戻す、絶好のチャンスです。
しかし、空売りといっても、買い手に現物を渡さないといけません。そこで投資家は、証券会社などに頼んで国債を借りてきます。ところが現在、大半の国債は、日銀が持っていますので、日銀以外からの調達が難しい。したがって空売りは出来ずということになり、現物売りだけの市場になります。その結果、日銀は、債券市場で、保有国債を売る額が小さくなります。

さて、日銀も、法人ですから決算があります。通常、株式や債券など証券は、上場されているものであれば、時価で評価されます。非上場で時価がなければ、簿価、ということになりますが、債券は条件（発行時の単価、利率、残存期間）が決まっていますので、利回りが決まれば、時価相当の単価が計算できます。銘柄ごとに、計算すれば、保有国債全部の、損益が分かります。したがって合計してみれば、保有国債の含み益、あるいは含み損が計算できます。額面数千兆円の国債、仮に 1 千兆円として 1%利回りが上がると、単純に考えて 10 兆円の損になります。

日銀は中央銀行ですから資産の健全さが求められます。債券は、償還まで持つので途中金利の上げ下げは関係ないということも言えますが、そうなると保有額は天文学的な数字になります。損益を計算してみて、損が出ると、含み損は大きくなり、資産の健全性に黄信号が付きます。それは為替相場（「円」）に影響を与えるでしょう。

低金利政策から離れられない日本、こんなところに原因があるのか・・・・と思っています。
****
SMBＣ日興証券の株価操作
マスコミで大きく取り上げられているこの問題、担当者は「違法性はない」と否定しています。生命保険会社での証券業務の経験と、4 年間証券会社へ出向、というだけの

証券とのかかわりですが、SMBC日興証券の担当者の言い分に、同感しきりです。長年お付き合いのある超一流企業の元証券担当部長は、「証券会社が昔からやっていたこと、あまり目立つので一罰百戒でやられたのでは・・」と言っていましたが、一罰百戒でやられては、マイナスが大きすぎます。

今回の事件で出てきた、「ブロックオファー」という言葉、日本経済新聞 4 月 14 日朝刊の「きょうのことば」で「ブロックオファー・　証券会社、投資家に株転売」という見出しで以下のような解説がありました。

　証券会社のトレーディング部門が手掛ける取引の一つ。①個別の上場株を一括で売却したい大株主から株式を買い取り、通常取引の時間外で投資家に転売する。取引時間中に大量の株式を売り出すと需給バランスが崩れ、株価が過度に下落したり売買成立まで時間がかかったりといった悪影響が出る恐れがあるため、ブロックオファーを依頼することがある。
大株主と証券会社の間で価格やデイスカウント率、約定日などを決める。②同時に証券会社は投資家に購入の意志があるかどうかを探る。投資家は割安に株式を買えるメリットがあり、証券会社には買い取りと売却の価格差が利益になる。
この取引は「エクイティオファー」「マーケティングオファー」などとよばれることもある。

　今回の事件でSMBＣ日興証券は、株式売買の部門が取引時間中に自社資金で大量の買い注文を入れ、株価が下がらないようにしたことが相場操縦罪にあたるとされた。株価が下がって大株主が不満を抱き、取引が不成立にならないよう株価を下支えしたい思惑が働いたことが背景とみられる。他社の中には売買部門が対象銘柄を取引できないよう監視しているケースもあるが、同社では部門間で情報を共有し、売買を行っていたとされる。

大株主が保有している上場株を、一括して売る場合、たいてい買い手は、上の説明にあるように、時価より割り引いたか価格で買い取ります。例えば、時価（市場の価格）@1000 円とすれば、1 割引いた@900 円で購入します。仮に、売却株数が、100 万株であれば

① 大株主と証券会社は、市場では、100 万株の売買を一度に成立させるのは難しい。そこで、市場の外で、一括の売買を行うことにしてだいたいの約定日・受け渡し日を決める。
② 証券会社は、顧客の買い取り者への売却価格（一応@950 円）を決め、買い手（投資家）を探す。買い手は一社と限らない。2 社で50 万株ずつと決まったとする。
③　大株主の売り、@900 円で 100 万株、購入 2 社、@950 円で 50 万株ずつ買い

の取引が、成立
④ 約定日の価格が＠1000 円前後であれば、このように売買は成立
しかし、大株主は、資金が欲しいので、どうしても売りたいが、買い手がなかなか見つからないようなときもある。証券会社の努力でやっとA社で 50 万株、B社で40 万株決まったが、残り 10 万株が決まらない。証券会社は、2 社 90 万株は、市場外で売買成立させ、残りの 10 万株は自己部門がいったん引き受け、新しい買い手を探すことにする。この間に、売り物が多くなって、証券会社のコスト、＠900 円を割りそうになったので、※買い支え、さらに基準となった時価＠１０００円まで買いを入れる。この、※の部分が、問題の相場操縦と指摘されているようです。

証券会社は、＠900 円で買って、＠1000 円まで株価を釣り上げ、＠100 円儲ける。けしからん、ということですが、＠1000 円の時価になれば、10 万株、＠950 円の売り物は、まず買い手が付きます。終値を＠1000 円にするために市場から買った株は、翌日以降、早めに市場で売るか、まとまった株数なら買ってもいいという法人顧客などがいれば、そちらに時価で売ることになる。
いろいろなケースがあるので、すべてこれと同様とはならないでしょうが、ブロックオファーで、証券会社が、株価操作して利益を出すというのは、特別な事情（大株主から頼まれた・・・）以外、ありえないように思われる。

4 月１２日の朝日新聞朝刊には、以下のような記事が出ていました。

証券等監視委員会が、２０年１０月ごろ、ＳＭＢＣ日興が買い注文を出した銘柄の終値付近で不審な値上がりを把握した。そこでＳＭＢＣ日興に照会をかけると、担当部長だった山田被告から回答が返ってきた。回答で、「マーケットメイク」という証券業界の概念を使って説明した。「マーケットメイク」は、売買の注文が入らず、取引量が少ない銘柄に、証券会社が注文を入れて、取引の活発化を狙う手法。山田被告は、回答内容について上司の佐藤被告に報告したという。
一方、監視委員会はこうした回答を不自然だと考えてさらに調査を進めた。２１年６月に強制捜査に踏み切って証拠を押収したところ「ブロックオファー」の対象銘柄であることが明確になった。ＳＭＢＣ日興が買い注文を出していた銘柄は、取引量が元々多く、山田被告が話した「マーケットメイク」に当たらないことが分かった。
特捜部は、ブロックオファーの基準となる終値の安定を図った不正な買い支えという目的を隠すために、組織的に当初から虚偽の説明をしたとみて捜査。監視委への回答を巡って山田被告と佐藤容疑者がやりとりした客観資料も押収しており、違法性の認識を示す重要な証拠とみている。

これによると、「終り値」を操作する「マーケットメイク」は、出来高の少ない中小株で行わる。「ブロックオファー」は、取引量が多い銘柄で行われるもので、「ブロックオファー」で「マーケットメイク」を使ったという説明は、虚偽に当たる、ということのようです。
取引量が多い銘柄でも、少ない銘柄でも「マーケットメイク」はあり得る（前半の例のごとく）、ことです。
最近の新聞の記事、内容不明でよくわからないことが結構多いです。
****

「ネット・ニュース」から

****

京大前総長が語る、「世界大学ランキング」が日本を二流にする理由

（４月４日配信　ダイアモンド・オンライン　インタビュー記事の一部　）

ゴリラの研究者として有名な京都大学の山極寿一教授（現在　総合地球環境学研究所所長、前京都大学総長）、霊長類学の大家は大学経営の不条理な真実に話を聞いた。（聞き手/長野　光、シード・プランニング研究員）

●日本の企業や大学といった組織が、ゴリラから学ぶべきことがあれば教えてください。

日本の組織は親方制度、あるいは家父長制度というものがいまだに強く根付いています。ゴリラは、一見大きなオスが、ボス的な役割を果たしているように見えるかもしれませんが、実は、ゴリラのリーダーはものすごく気を配っています。なぜなら、メスにはオスを選ぶ権利があるからです。

一方、日本人の多くは、下の者をお金でコントロールできると思い込んでいて、上が威張り、上意下達（上の者の意向や命令を下に伝えること）がいまだにまかり通っています。年功序列制は上意下達の良い例です。

僕ら大学は、「4　月一括の採用をやめましょう。ジョブ型採用にしましょう。社員が、一つの会社に一生勤めるのではなく、能力に応じていろいろな会社を渡り合っていけるようにしましょう」と企業に提案しました。しかし、「終身雇用、年功序列」が当たり前の日本企業は、なかなか変わりません。人事担当の課長や部長は、社員の会社へのロイヤルティー（従業員が勤める企業に対して抱く忠誠心や帰属意識）は絶対必要だといまだに言うわけです。
もうそういう時代ではありません。ロイヤルティーは必要であるなどと言っているから、日本はイノベーションが起きないし、世界に劣後してしまうわけです。もっと有能な社員を、短期でもいいから高い給料で雇うようなシステムを導入する必要があると思い

ます。
　ゴリラから見習うならば、日本の会社は社員の自由な動きをもっと認めるべきです。特に、女性の自由な動きを認めれば、日本の会社はもっとフレキシブルな運営の仕方ができるでしょう。しかも能力に応じたさまざまな事業展開ができます。日本の会社は既に述べたような古い体制に固執しているから、フレキシブルな組織から遅れてしまっているわけです。

****

会　員　の　広　場

****

2年ぶりに『そうだ京都に行こう』を実行－その7－　　池端千一郎　（74歳

京都の魅力は水が決め手

現在の京都市は京都盆地の中にある。この盆地は数万年前まで湖だったという。この湖は、北は現在の上賀茂神社の辺りから南は宇治川を更に超えて大和にまで及ぶ広大なものであったらしい。現在の京都市にもその残滓というか名残と言われる場所が3つある。一つは二条城の南に隣接する神泉苑の法成成就池。二つ目は現在の上賀茂狭間町にある深泥池。そして三つ目は昭和の初めに埋め立てられ現在は水田となった巨椋池である。皆様も上洛の機会があれば行かれてはいかがであろう。

この巨大な湖は、それを取り巻く周囲の山々や琵琶湖を水源とする賀茂川、高野川、保津川、桂川、保津川、瀬田川、宇治川等から流れ混む土砂の堆積により、水が消失してやがて盆地となったが、盆地の地下には豊富な地下水脈が形成されていった。こうして京都は平安遷都が挙行された 8 世紀より遙かに以前から、川や湧き水等の水に恵まれた土地となったのである。

794 年に桓武天皇が平安京への遷都を決断した経緯や理由は、その 10 年ほど前に遷都した長岡京で、宮中の主要な人物が疫病等で相次いで亡くなったことや、長岡京の一角を流れていた桂川等の洪水に苦しめられたためと言われている。更にこれらに加えて、次の遷都先の候補となっていた京都盆地は、地下水や川からの水が潤沢に得られること、新たな都の建設に必要な平坦で広大な土地が確保できたこと、東西北の三方が山で遮られ南は開いているという地形が風水上好ましいと判断されたこと、平安京の南部は宇治川に接しており、それを超えれば大和にも近い等の理由によったらしい。

平安時代中程の白河法王は「賀茂川の水、双六の賽、山法師。これぞ我が心にかなわぬもの」（百人一首）と言って、平安京の東を流れる鴨川の氾濫には随分苦しんだようだが、それでも上質で豊富な水が手に入りやすいことや河川の水運が使えることのメリットはよほど大きかったらしく、794 年の遷都以来、明治維新により 1868 年に天皇が江戸城に無血入城するまでの約 1100 年の間、天皇が暮らす都として続いたのである。

この間、室町時代の 1467 年から 1477 年の 10 年間は、応仁の乱によって京の街はその大半が焼き尽くされ、現在との人口比から推定すると、200 近くあったであろう寺のうち消失を免れたのはわずか3寺のみとなったが、それでも他地域への遷都は行われなかった。ちなみに応仁の乱で焼失を免れた3寺とは、千本釈迦堂（大報恩寺）、蓮華王院三十三間堂、六波羅密寺本堂であり、最初の千本釈迦堂は現在京都市に残る最古の木造寺院建築物である。逆に言えば、現在市内に 1700 ほどもある寺の建物は殆どが安土桃山期や江戸時代や明治以降に建設されたものなのである。よってこの3寺も筆者が見物をお勧めしたい場所である。

ところで、京都市は川や運河を利用した水運の便が良かったことに加えて、大変上質な地下水が豊富であった。そのために、茶道、池泉回遊式庭園、友禅染、日本酒醸造、豆腐作りなど、今日にまで連綿と続く京都ならではの雅な伝統文化や伝統産業を育んだのである。しかも、いずれも今や日本が世界に誇る文化財ばかりである。

こうしてみると、今や世界的な観光都市として確固たる地位を獲得した京都市の多様な文化的魅力の背景というか大元には、地下水も含めた上質で豊富な水資源の存在があったと言えるのではないだろうか。

****

「台湾の歴史を学ぶ」　　田口秀美（　）

（『八王子市南大沢　歴史の会』所属）

私が台湾について知っていたことは、中国大陸に隣接する、日本と親しい民主主義の国という漠然とした知識でした。台湾の歴史を学びたいと思ったきっかけがあります。

私は、八王子市に暮らし学び、働く外国の人々と日本語の学習をするボランティア団体「八王子・日本語の会」に参加しています。そこで、台湾から東京都立大学に留学している方と日本語を学習する機会がありました。最初の学習の後に

話し合った時のこと、私は「蔣介石総統は、日本への戦後賠償などで理解ある対応をしてくれたのですね。」など、台湾と日本の友好関係を話そうとしました。また、共にボランティアに参加している友人は「歌手のテレサテンは台湾の人ですね。」と話しました。台湾の留学生の方は、「そうですね。」と微妙な表情で微笑みました。私は、なにか失礼なこと、間違ったことを言ってしまったのではないかと心配になりました。共に学習していくなかで、不確かな知識で歴史を語ることは失礼になるという思いと、このことを機会として、台湾の歴史を知りたいという思いで学習を始めました。
最初は「図説　台湾の歴史」（周婉窈博士　1956～）を読みました。台湾の歴史を古代から現代まで、図表を示して分かりやすく丁寧に教えてくれます。周博士は、この本の始めに「台湾人は、台湾の歴史を学んだことがない。」と書いています。最初から戸惑う記述でしたが、台湾の歴史を学んでいく中で、その意味することを理解できるようになりました。そして、台湾の激動の歴史と日本との深い関わりについて今まで知らなかったことが、たくさんあることに驚き、知るほどに台湾の歴史と文化をより知りたいという思いが深まりました。
また、大陸とは異なる独自の文化が発展し、歴史が積み重ねられ「台湾人意識」が形成された過程を学びたいと思いました。

現在の台湾の人口は、約 2360 万人で、「台湾人」は、ルーツから四つの「族群」（エスニックグループ）に属します。それは、(1)「本省人」の閩南系の人々、(2)「本省人」の客家系の人々、(3)「外相人」の人々、(4)「先住民の人々」です。

(1)　の「本省人」の閩南系の人々は、人口の約 74%の多数を占め、そのルーツは 400 年以上の歴史を遡ります。1621 年、福建省生まれで、台湾海峡、東シナ海に商業圏と軍事力を持っていた、願思斉、鄭芝竜（鄭成功の父）ら 26 人が台湾中部に住み、郷里の福建から漢人を呼び寄せ、約 3000 人の集落を作って開拓しました。その末裔の人々、1624 年にオランダが現在の台南市周辺を植民地にした時代に福建省の泉州、福州から入植した人々の末裔、そして 1662 年、鄭成功将軍がオランダを駆逐した際に入植した、鄭成功軍と家族 3 万人の末裔の人々、鄭政権の後、清朝領有の時代に福建省、広東省から入植した人々の末裔です。

(2)　の「本省人」の客家系の人々は、人口の約 12%で、そのルーツは、古代中国の中原や東北部の王族の末裔と語り継がれ、言語も中原の古音を残しており、晋の末期の大きな政変のときに北方から移住を重ねたと記録されています。日本の漢字音は、唐、宋の時代に伝来したため、古い時代の中国語の特徴を残す客家語との類似性があると言われています。更

に客家系の人々は、宋の末期に元の侵攻によって広東に広がり、やがて清の領土拡大に伴い四川省、台湾に移住しました。客家の人は、勇敢で忍耐強い気質と言われてきました。

(3) の「外省人」の人々は人口の約 12%で、1945 年、第二次世界大戦後、敗戦国となった日本が退去した後に大陸から移住して来た国民党と家族の人々、大陸で共産党軍との戦いで敗れ渡ってきた国民党軍、そして、社会主義国家で暮らすことを拒んで移住して来た人々の末裔です。国民党は、移住して来た根拠に「カイロ宣言」をあげます。「カイロ会議」は、1943 年にカイロで開かれ、チャーチル首相、ルーズベルト大統領、蔣介石首相の三者会談で、戦後処理が議題でした。会議の後に公表された「カイロ宣言」の中に「日本は、満洲、澎湖諸島、台湾を中華民国に返還する。」という文言があり、国民党が台湾に移住して来た根拠としています。1943 年の当時、大陸では日本軍が優勢で中華民国が日本との和平協議に応じることに危機感を持ったルーズベルト大統領が蔣介石首相を招聘し、このような戦後処理案を示したと言われます。共産党軍はソ連から、軍事と資金の支援を受けて勢力範囲を拡大し、南京の国民党政府は極めて劣勢でした。やがて敗戦国となった日本軍から没収された武器が、ソ連軍から共産党軍に与えられ、国民党軍は更に劣勢になりました。その結果、共産党軍に敗れた国民党軍、国民党が、台湾に逃げ込んでくることになりました。

(4) の「先住民の人々」について。約 400 年前、台湾はオーストロネシア言語系の人々が暮らす島々でした。先住民の人々は現在、人口の約 2%の約 50 万人の人々が暮らしています。清朝時代に、平地で漢民族と同化して暮らしていた人々を「熟番」と呼んでいました。一方、清朝の管理になじまず山地や孤島の僻地で暮らす人々を「生番」と呼んでいました。日本統治時代、日本の民族学者の調査したところ、「熟番」が 10 部族、「生番」9 部族が確認されたと記録があります。先住民の人々は、部族ごとに言語が異なり文字を使用しなかったため、部族間の意思の伝達ですら困難だったと言われます。日本の統治時代になり学校教育が義務付けられ、日本語を通じて部族間の、そして、先住民の人々と移住民の意思の疎通が可能になったと言われます。現在は、16 部族が確認されています。1994 年、台北市に「順益台湾原住民族博物館」が設立され、歴史と文化を知ることができます。

（つづく）

****

国立慕情（12）　　津田孚人（84歳）

****

「武蔵野グリーンパーク野球場」

海の向こうで大活躍する大谷翔平選手、野球ファンでない一般の人の関心を大きくひきつけましたが、国内でも、佐々木郎希という、超若手有望選手が現れました。サッカーに押され、人気が落ち目のプロ野球の救世主となることを、野球ファンとして大いに期待しています。
最近、ビックリしたのは、王、長嶋、金田など、プロ野球の人気を大きく盛り上げた、球界のスーパースターを、知らない人たちが増えたことです。戦後すぐの昭和 21年から、大学野球、プロ野球と動き始め、少年から大人まで野球に熱中しました。空き地があれば、少年たちが野球をやっていました。ボールもバットもグラブも、ありきたりでしたが、誰もおかしいとは思わず、ただ楽しんでいました。それをまた、通りすがりの大人が見て楽しんでいました。
野球ファン、ひとくくりにして考えていましたが、戦前のファンを第一世代とすれば、戦後は、第二世代、第三世代、第四世代くらいまで分けられそうです。

さすれば、我々は第二世代、戦後復活したプロ野球を振り返ると、オーナーは新聞社、電鉄会社が多い。読売ジャイアンツ、毎日オリオンズ、産経スワローズ、中日ドラゴンズ、西日本パイレーツ、といった新聞社（5）、東急セネターズ、国鉄スワローズ、西武ライオンズ、阪神タイガース、阪急ブレーブス、南海ホークス、近鉄バッファローズ、西鉄ライオンズといった鉄道会社（8）、そして松竹ロビンス、東映フライヤーズ、大映スターズといった映画会社（3）もあった。別格は広島カープ。特定スポンサー無しに初めから市民球団でスタート、旧広島市民球場で試合をするときには、入り口に空き樽をおいてカンパを募った。
現在残っているのは、読売、中日、西武、阪神、広島の5球団、その間の歴史は長く、多彩で、プロ野球ファンの層が多層に分かれるのも当然です。（　旧球団名から、現在の球団につなげるのはかなり難しい。このほかにも、金星スターズ、太陽ロビンス、などという球団もありました）

さて、高齢者は、昔を知っているとすぐ自慢話をしたくなります。JR中央線の三鷹駅から電車で一駅のところに「グリーパーク野球場」がありました。プロ野球、国鉄スワローズの試合があり、金田正一投手をみたといって、野球好きの自慢話をしてきました。
　国立慕情から横道にはずれますが、少年時代の強い思い入れ、また「グリーパー

ク野球場」には、数奇な運命が訪れていますので取り上げます。ご容赦ください。

1951 年（昭和 26 年）、プロ野球公式戦のほとんどが後楽園球場で開催されていましたが、明治神宮野球場が 1952 年まで進駐軍に接収されており、シーズンオフの学生野球以外は、日本人が自由に使用することが出来なかったという事情も背景にありました。
グリーンパーク球場は、こうした球場不足を解消し、プロ野球の運営をよりスムースにすることを目的として、進駐軍より返還された国鉄（現・JR東日本）中央本線三鷹駅北側の中島飛行機武蔵製作所東工場（旧武蔵野製作所）跡地に建設されました。グリーンパークという名称は、終戦直後よりこの一帯を接収していたアメリカ軍が用いていた地名です。
　経営母体は武蔵野文化都市建設株式会社（1950 年に株式会社東京グリーンパークに改称）という、旧中島飛行機の残留従業員労働組合が 1947 年に払い下げを受けて設立した会社で、社長は公職追放を受けた直後の松前重義、役員には武者小路篤、徳川無声、近衛秀麿など錚々たる顔ぶれが名を連ねていました。
　国鉄球団の母体となった交通協力会が発行する「国鉄スポーツ」1951 年 3 月 25 日号によれば、「このほど開かれたセ・リーグ代表者会議で国鉄スワローズのフランチャイズに承認」と記されていますが、当初から国鉄スワローズ（現・東京ヤクルトスワローズ）が本拠地として使用することを想定していたわけでないという説もあり、グリーンパークと国鉄本社や、球団との間で設立趣旨は一致していなかったようです。ただ、線路を引き、特別列車を運行するなど、国鉄側がグリーンパークに協力的だったことは事実。

グリーンパーク野球場は、1951 年 4 月 14 日より 2 週間にわたり行われた東京 6 大学の春のリーグ戦で初めて使用された。プロ野球のこけら落としは、1951 年 5 月 5 日に開催された国鉄スワ―ローズ対名古屋ドラゴンズ（現中日ドラゴンズ）戦でした。
しかし、工期の限られた突貫工事だったことに加えて、フィールドと外野スタンドの盛土は保水力の乏しいローム層のため、芝の生育が不完全な状態でしたので、新球場のお披露目となる 5 月の試合では突風で砂塵が飛び交うなどコンディション面での決定的な悪印象を残してしまいました。さらに（開場当時の感覚では）都心から遠い郊外地という地理条件もあって、選手や観客のもつ印象は良くなかった。
また球場の名称も正式には「東京スタディアム」（通称を）「武蔵野グリーンパーク」にすることが提案されていたが、新聞記事の文字数の制約上難しいと却下され、表記もパ・リーグは「武蔵野球場」、セ・リーグは「三鷹球場」と異なるなど、ファンの認知度も上がらなかった。

致命的だったのは、翌 1952年に進駐軍による神宮球場の接収が解除され、さらに同時に川崎球場が開場、また 1954 年には駒沢球場が誕生するなど、首都圏の野球場不足が緩和されてしまった。
したがってフランチャイズ制度が導入されて、鉄道収入が期待できるところから国鉄スワ―ローズが最有力とみられていたが、専用球場をもてば後楽園での興行権を失うため、都心のファンを捨ててまで地理的に分の悪い武蔵野に本拠地を移すメリットが国鉄スワ―ローズに無くなっていった。

「グリーンパーク野球場」は、完成したものの利用される頻度が少なく、結局、プロ野球では 1951 年の 1 シーズン 16 試合、東京 6 大学も、同年に 19 試合が行われたのみで閉鎖されることになった。
野球場は 1956 年に解体され、跡地は日本住宅公団に売却されて、武蔵野緑町団地（現在は、武蔵野緑町パークタウンと呼ばれる）なり、外周道路に囲まれた敷地形状にわずかな痕跡を残すのみとなっている。

以上、ウイキペディアを参考にしてまとめてみましたが、実際に球場へ出かけた覚えがあります。土煙があがり、目を開けていられないような野球場という印象が残っています。国鉄スワローズの試合を観たのを覚えていますが、東京 6 大学の試合が行われたのは記憶にありませんでした。戦後の混乱期、三鷹事件、下山事件、など三鷹の名前は、有名でしたから、国鉄球団の誕生、移転に何か関係があるのか気になりました。

****

事　務　局

****

天地シニアネットワーク事務局 （津田 孚人）
〒116－0001荒川区町屋3－2－1
ライオンズプラザ町屋703
メールアドレス：tentisenior06@gmail.com
電　話・FAX　　03-3819-7651